

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

分野	学科コース名	学年	科目名	時間数	内容
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	立居振舞	30	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	I C T リテラシー I	60	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	英会話 I	60	6段階のレベル別クラス編成で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	英語検定 I	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの早期取得を目標とします。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	マナー・接遇 I	90	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	イメージアップ I	60	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	第二外国語 I	60	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	航空知識 I	30	航空運輸業界の仕事を理解し、そこで働く者にとって必須知識である専門用語、レターコードの習得を目標とします。また、航空地理や機体構造についても学び知識を深めます。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	T I M基礎	30	各国のパスポート・ビザ・入国の際の規則についての英文をTIMATIC (Travel Information Manual)を使用し、読み取る力を身につけます。反復演習を行うことで、独特の言い回しに慣れることを目的とします。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	手話演習 I	60	手話の基礎を学び、手話検定4級の取得を目標とします。手話話者との実践授業を通して、知識だけではなく心の伴った手話会話ができることを目指します。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	F A面接	30	客室乗務員に特化した面接試験の対応力を習得することを目指します。姿勢、発声、立居振舞を磨き、第一印象の好感度を上げたうえで、会話術、自己表現力を身につけます。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	客室実習 I	60	客室乗務員の業務全般について学びます。正しい言葉遣い、美しい立居振舞を意識し、高いサービスレベルを身につけます。また、保安業務の重要性を理解し、責任感を高めます。㈱フィードバック・サービスとの企業連携授業実施科目。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	客室英会話 I	30	航空会社で使用されている基本的な航空用語を学び、反復学習により習得を目指します。また、機内で使用する基本的な会話表現を覚え、自然な立居振舞と共に使いこなせることを目指します。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	1	客室キャリアデザイン I	30	航空会社への就職を目指し、今必要なことを見つめ自己分析を徹底し、感性を磨き自己管理能力を高めます。客室乗務員向きの思考回路と行動様式を学びその姿に近づくことを目的とします。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	I C TリテラシーⅡ	60	パソコンの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したレポート作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、セキュリティやメール、個人情報の取扱い等についても学習します。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	英会話Ⅱ	60	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	英語検定Ⅱ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	マナー・接遇Ⅱ	90	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	イメージアップⅡ	30	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	第二外国語Ⅱ	60	1年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。
文化・教養	エアライン科 客室乗務員コース	2	卒業課題	60	ディプロマポリシーを基盤として2年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。
合計	エアライン科 客室乗務員コース			1,230	
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	立居振舞	30	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目指します。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	I C T リテラシーⅠ	60	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	英会話Ⅰ	60	6段階のレベル別クラス編成で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	英語検定Ⅰ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの早期取得を目標とします。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	マナー・接遇Ⅰ	90	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	イメージアップⅠ	60	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	第二外国語Ⅰ	60	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目指します。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	航空知識Ⅰ	30	航空運輸業界の仕事を理解し、そこで働くものにとって必須知識である専門用語、レターコードの習得を目標とします。また、航空地理や機体構造についても学び知識を深めます。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	TIM基礎	30	各国のパスポート・ビザ・入国の際の規則についての英文をTIMATIC (Travel Information Manual)を使用し、読み取る力を身につけます。反復演習を行うことで、独特の言い回しに慣れることを目的とします。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	手話演習Ⅰ	60	手話の基礎を学び、手話検定4級の取得を目標とします。手話会話者との実践授業を通して、知識だけではなく心の伴った手話会話ができることを目指します。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	航空予約システム演習Ⅰ	60	国際線の予約システムamadeusの操作習得を目標とします。空港・航空会社コード等の基本的な検索から、フライト情報や空席照会を学ぶことで、基本的な予約 (PNR:Passenger Name Record)を作成するスキルを習得します。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	1	旅客実習Ⅰ	60	グランドスタッフの基礎知識と業務全般を学び、ロールプレイ演習を通して実践的に体得することを目標とします。(㈱ドリームスカイ名古屋との企業連携授業を実施します。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	ICTリテラシーⅡ	60	パソコンの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したレポート作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、セキュリティやメール、個人情報の取扱い等についても学習します。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	英会話Ⅱ	60	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	英語検定Ⅱ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	マナー・接遇Ⅱ	90	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	イメージアップⅡ	30	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	第二外国語Ⅱ	60	1年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。
文化・教養	エアライン科 グランドスタッフコース	2	卒業課題	60	ディプロマポリシーを基盤として2年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。
合計	エアライン科 グランドスタッフコース			1,200	
文化・教養	総合観光サービス科	1	立居振舞	30	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目標とします。
文化・教養	総合観光サービス科	1	ICTリテラシーⅠ	60	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	総合観光サービス科	1	英会話Ⅰ	60	6段階のレベル別クラス編成で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。
文化・教養	総合観光サービス科	1	英語検定Ⅰ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの早期取得を目標とします。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。
文化・教養	総合観光サービス科	1	マナー・接遇Ⅰ	90	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。
文化・教養	総合観光サービス科	1	イメージアップⅠ	60	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。
文化・教養	総合観光サービス科	1	第二外国語Ⅰ	60	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。
文化・教養	総合観光サービス科	1	国内実務総合	90	国内旅行で使用する交通手段の規則や運賃・料金計算手法の基礎知識習得を目標とします。JR、航空、貸切バス、フェリー等について理解し、国内旅行業務取扱管理者試験に挑戦します。
文化・教養	総合観光サービス科	1	観光地理Ⅰ	60	日本国内における観光資源の知識習得を目標とします。世界遺産・国宝・名所・温泉・祭・名産品などについて、所在地・プロフィールなど観光資源全般について学びます。
文化・教養	総合観光サービス科	1	旅行業法規	60	旅行業法・旅行業約款の学習を通して旅行現場で働く上で必要な規則を理解できることを目標とします。
文化・教養	総合観光サービス科	1	ツアープランニング基礎	30	旅行のプランニング基礎を学び、作成したプランを実際の研修として行くことで、旅行の楽しさや難しさを実感することを目指とします。実地研修時では、添乗員として誘導・案内も受け持ちます。
文化・教養	総合観光サービス科	1	旅行業務基礎	60	旅行・観光業界で働く上で必要な知識と基本業務の流れを理解できることを目標とします。移動手段や宿泊施設・食事など、様々な旅行商品を的確に選択する方法や、添乗業務全般について学外研修等で学びます。
文化・教養	総合観光サービス科	1	海外渡航基礎	30	海外渡航に必要な基礎知識習得し、お客様へ海外渡航の魅力や注意点を説明できることを目標とします。海外渡航における基本的な流れと知識（世界の国・都市名、旅券・査証、入出国、時差など）を学びます。
文化・教養	総合観光サービス科	1	観光産業と地方創生	30	観光産業拡大と共に持続可能な地域づくりを支援・推進するための組織や機能について理解することを目標とします。地域資源の活用や受け入れ施設の整備など、成功例・先進例・課題点を学び、観光の視点で解決する力を身につけます。
文化・教養	総合観光サービス科	1	観光業界キャリアビジョン	30	自身のキャリアプランを描き、夢実現のために準備をします。旅行・バス・鉄道会社等の現場視察を通して表向きだけではなく様々な業務・事情を知ること、即戦力として長く働くためのマインドを育成します。
文化・教養	総合観光サービス科	2	ICTリテラシーⅡ	60	パソコンの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したレポート作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、セキュリティやメール、個人情報の取扱い等についても学習します。
文化・教養	総合観光サービス科	2	英会話Ⅱ	60	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	総合観光サービス科	2	英語検定Ⅱ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。
文化・教養	総合観光サービス科	2	マナー・接客Ⅱ	90	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接客検定の上級合格を目標とします。
文化・教養	総合観光サービス科	2	イメージアップⅡ	30	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。
文化・教養	総合観光サービス科	2	第二外国語Ⅱ	60	1年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。
文化・教養	総合観光サービス科	2	卒業課題	60	ディプロマポリシーを基盤として2年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。
合計	総合観光サービス科			1,350	
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	立居振舞	30	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目指します。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	I C T リテラシーⅠ	60	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実践レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	英会話Ⅰ	60	6段階のレベル別クラス編成で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	英語検定Ⅰ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの早期取得を目標とします。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	マナー・接客Ⅰ	90	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学ぶ必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接客検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	イメージアップⅠ	60	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	第二外国語Ⅰ	60	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目指します。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	ホテル概論	90	ホテル業界を体系的に理解することを目標とします。知識の基礎を築くため、業界の歴史やホテル名、職種ごとの業務などを順序良く学び、ホテルビジネス実務検定試験にも挑戦します。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	料飲・宴会サービス実務Ⅰ	90	フルコース料理のサービス技能とサービス英会話の習得を目標とします。カトラリーやテーブルの名前、テーブルセッティングの方法などを実践で学び、確実に実力をつけていきます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	ホテル宿泊実務	30	宿泊業務に携わる仕事の業務理解と技能習得を目標とします。ドア、ベル、フロントなどの接客を日本語と英語のロールプレイング形式で学ぶことにより、ホテルスタッフとしての応対力も身に付けます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	ブライダル概論	60	プランナーをはじめ、ブライダル業界の仕事や業務理解を目標とします。業界の歴史や業務内容、また、挙式・披露宴の成り立ちを知るために、挙式のスタイルやペーパーアイテム、衣装知識まで幅広く学びます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	ブライダル実務Ⅰ	30	ブライダルプランナーの接客業務を実演できることを目標とします。新規接客業務をロールプレイング形式で実践することにより、幅広い提案力、接客力を身に付けます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	テーブルコーディネート	60	テーマごとのテーブルコーディネートを考え、セッティングできることを目標とします。コーディネートに欠かせない装花や色彩の知識を深め、季節のコーディネートを作るなど、感性を磨きます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	1	ホテル・ブライダルキャリアビジョン	30	自身のキャリアプランを描き、夢実現のための準備をすることが目標です。ホテル・ブライダル業界に特化したサポートを行い、入社3年後、5年後、10年後をイメージしていきます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	ICTリテラシーⅡ	60	パソコンの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したレポート作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、セキュリティやメール、個人情報の取扱い等についても学習します。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	英会話Ⅱ	60	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	英語検定Ⅱ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	マナー・接遇Ⅱ	90	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接遇検定の上級合格を目標とします。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	イメージアップⅡ	30	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	第二外国語Ⅱ	60	1年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。
文化・教養	ホテル・ブライダル科	2	卒業課題	60	ディプロマポリシーを基盤として2年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。
合計	ホテル・ブライダル科			1,350	
文化・教養	グローバルビジネス科	1	立居振舞	30	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目指します。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	ICTリテラシーⅠ	60	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実技レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	グローバルビジネス科	1	英会話Ⅰ	60	6段階のレベル別クラス編成で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	英語検定Ⅰ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの早期取得を目標とします。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	マナー・接遇Ⅰ	90	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学ぶ必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接遇検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	イメージアップⅠ	60	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	第二外国語Ⅰ	60	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目標とします。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	外国語Ⅰ	30	第二外国語としてアジアの言語について学びます。日常会話の基本的な表現の取得を目指し、コミュニケーションに必要な語彙・文法の基礎を学びます。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	国際ビジネス基礎	30	国際ビジネスの基礎知識となる国際経済地理として世界の産業や貿易、さまざまな国際規格について学び、輸出入・物流の仕組みなどの国際物流の基礎を学習します。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	TOEIC SpeakingⅠ	30	英語のスピーキング能力を判定するTOEIC® Speaking Testに対応したビジネスシーンにおけるスピーキングスキルの基礎を身に付けます。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	カスタマーサービス概論	30	日本が世界に誇れるおもてなしの心とは何かについて、グループワークを中心に学びます。また、幅広い接客接客業界の動向及び職種の内容についても理解を深め、適切なカスタマーサービスを提供できるスキルを習得します。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	Communicative EnglishⅠ	60	課題解決型英会話学習と児童英会話から選択し1・2年生合同で行います。課題解決型英会話は世界の国々をテーマにグループワークやレポートを発表、児童英会話は保育園での模擬授業実施を目標とします。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	比較文化研究Ⅰ	30	グローバル社会において必要な「異文化理解力」を身に付けるための素地を獲得することを目標とします。世界各国の文化を比較しながら、自国の文化、世界情勢、国際問題についての理解を深めます。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	Vocational EnglishⅠ	30	様々な業界・職種の特徴やそれぞれのビジネスシーンで使われる業界・職業別の英会話フレーズを習得し、ロールプレイング形式での学習を通して理解を深め、職業意識を高めます。
文化・教養	グローバルビジネス科	1	海外生活・文化研修	60	ボランティア・就業体験を含む海外留学を通して、語学力のブラッシュアップとともに異文化コミュニケーション力を身に付けることを目標とします。英語でのプレゼンテーションを含む事前学習と帰国後、発表会を行います。
文化・教養	グローバルビジネス科	2	ICTリテラシーⅡ	60	パソコンの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したレポート作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、セキュリティやモラル、個人情報の取扱い等についても学習します。
文化・教養	グローバルビジネス科	2	英会話Ⅱ	60	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	グローバルビジネス科	2	英語検定Ⅱ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。
文化・教養	グローバルビジネス科	2	マナー・接客Ⅱ	90	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接客検定の上級合格を目標とします。
文化・教養	グローバルビジネス科	2	イメージアップⅡ	30	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。
文化・教養	グローバルビジネス科	2	第二外国語Ⅱ	60	1年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。
文化・教養	グローバルビジネス科	2	卒業課題	60	ディプロマポリシーを基盤として2年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。
合計	グローバルビジネス科			1,260	
文化・教養	コンシエルジュ科	1	立居振舞	30	社会に出る前の準備段階として、立ち居振る舞いと自己表現力の強化を図ります。所作、表現力、話す力等、就職活動の基本を学び習得することを目指します。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	I C T リテラシーⅠ	60	プレゼンテーション、文章作成、表計算など、パソコン基本ソフトを実践レベルで学習します。また、Microsoft365のクラウドサービスを活用し、通信技術利用のコミュニケーションスキルを磨きます。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	英会話Ⅰ	60	6段階のレベル別クラス編成で、自分自身について英語で表現できることを目標とします。一人ひとりが考えと意見を持つことを重視し、タスクベースのアクティビティを行います。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	英語検定Ⅰ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの早期取得を目標とします。総合的な英語力育成のため、講義と併せアウトプットの活動も並行して行います。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	マナー・接客Ⅰ	90	本校の学生として相応しいマナーを身につけていきます。また、接客対応の考え方を学び必要な資質を身につけることを目標とします。サービス接客検定や日本語検定取得を目指し、検定対策授業も行います。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	イメージアップⅠ	60	清潔感のある身だしなみを基本として、ヘアメイク・スキンケア等、メイクの基本を学びます。セルフブランディングに基づき業界に応じたイメージアップを目標とします。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	第二外国語Ⅰ	60	英語以外の外国語として、中国語または韓国語を選択し、文字や発音などの基礎から学習します。将来の職業を想定し、接客に活かせる会話文を実践的に習得することを目指します。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	ゲストサービスⅠ	60	テーマパークを中心にした、ゲストの心理と期待とは何かを知り、必要な表現力を習得します。ホスピタリティの在り方についてケーススタディ・ロールプレイングから学びます。
文化・教養	コンシエルジュ科	1	表現技法基礎	30	TP0に応じた、幅広い表現力の習得を目的とし、お客様の耳だけでなく心に届く声、伝わる表現力を磨き、発声の基本からオリジナル原稿の作り方、読み方等多角的に学びます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	コンシェルジュ科	1	ユニバーサルランゲージⅠ	60	全てのお客様にご満足いただくために、幅広いおもてなしの現場で求められる接客英会話を学びます。様々な場面を取り上げロールプレイングを行うことで職業への理解も深めます。
文化・教養	コンシェルジュ科	1	異文化理解	30	グローバル社会において必要な「異文化理解力」を身に付けるための素地を獲得することを目標とします。世界各国の文化を比較しながら、自国の文化、世界情勢、国際問題についての理解を深めます。
文化・教養	コンシェルジュ科	1	コンシェルジュⅠ	60	コンシェルジュに代表される接客業界に於ける基本マナー、社会常識や業務知識・技能の習得を目標とします。ロールプレイングを通し「自ら考える」ことを念頭に学びます。
文化・教養	コンシェルジュ科	1	茶道・着付け	30	日本の民族衣装である着物と、茶道の知識を通じ、日本の伝統的な立ち居振る舞いを身に付けることを目指します。ビジネスシーンにも生かすことの出来る様、反復練習を行います。
文化・教養	コンシェルジュ科	1	ホスピタリティマインド	60	社会人ホスピタリティ検定対策を通じ、ホスピタリティの基本知識と判断力を習得することを目標とします。小テストを実施し理解を深め、検定取得に必要なマインドを学びます。
文化・教養	コンシェルジュ科	1	カラーマーケティング	30	色彩の基礎をはじめとする、人に与える色の印象を利用したマーケティングについて学ぶことを目標とします。色の役割に着目し、多様な活動を通じて理解を深めます。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	ICTリテラシーⅡ	60	パソコンの幅広い活用方法習得を目的とし、Excel検定受験やWordを利用したレポート作成を行います。また、昨今の情報化社会には欠かせない知識として、セキュリティやメール、個人情報の取扱い等についても学習します。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	英会話Ⅱ	60	1年次の応用として、より高度な語彙を使い、会話の展開が出来る力の育成を目標とします。授業ごとに、毎回異なったテーマについての会話の実践をペア・グループワークで学びます。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	英語検定Ⅱ	120	6クラス編成によりそれぞれが目指す級、及びスコアの取得と更新を目標とします。出題傾向を掴み、英語の運用能力を身に付けるため、4技能を意識した反復練習を行います。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	マナー・接客Ⅱ	90	社会人としてのマナーや、接客時に心掛けるべきことについて学びを深めます。資格としてビジネス実務マナー検定や文書検定、サービス接客検定の上級合格を目標とします。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	イメージアップⅡ	30	1年次に引き続き、全身のイメージアップを目標に『好感が持てる声』の発声を学びます。発声・呼吸・活舌を軸に自分の声を自覚し、磨き鍛えるトレーニングを行います。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	第二外国語Ⅱ	60	1年次に引き続き、中国語または韓国語を選択し、接客のあらゆる場面で使われる会話をロールプレイ形式で学習します。応用力を深め、即戦力として使えることを目標とします。
文化・教養	コンシェルジュ科	2	卒業課題	60	ディプロマポリシーを基盤として2年間で習得した知識やスキルを振り返ることを行います。その学びの集大成としての課題を目に見える形で作り上げることを目標とします。
合計	コンシェルジュ科			1,320	
文化・教養	国際ホスピタリティ科	1	ICTリテラシーⅠ	60	あらゆる業務に必須の基礎的なパソコン操作能力と日本語入力スキル、表計算技能を身につけます。

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧

文化・教養	国際ホスピタリティ科	2	I C TリテラシーⅡ	60	スムーズな文書入力スキルと表計算技能を身につけます。そして、「情報処理技能検定試験」「日本語ワープロ検定試験」合格を目指します。実習形式
文化・教養	国際ホスピタリティ科	2	マナー・ホスピタリティⅡ	60	サービスに必要な一般知識とホスピタリティ精神に基づいたサービスのマインドについて習得します。サービス接遇試験3級合格を目指します。講義・演習形式
文化・教養	国際ホスピタリティ科	3	I C TリテラシーⅢ	60	パソコンを使つての文書作成、表作成、表計算スキルの習得を目標としています。そして「情報処理技能検定試験」「文書デザイン検定試験」の合格を目指します。また、PowerPointについても学習します。実習形式
文化・教養	国際ホスピタリティ科	3	マナー・ホスピタリティⅢ	60	ビジネスの場において適切な行動ができるようになるための具体的な考え方、行動の仕方、マナー、言葉遣いを習得します。講義・演習形式
合計	国際ホスピタリティ科			300	